

ラブレターをもう一度。



ラブレターを書いたことはありますか？遠い記憶に残っている方もいるでしょうか。書いたものが残るのはとても取すかしいけれど、直接気持ちを伝える方がもっと取すかしいというときに、すべてをラブレターに込めるのです。便箋はどんなデザイン、大きさにしよう、インクの色はピンクがいいかな、封筒には思い切ってハートのシールを貼ろうかな、といろんなことを考えると思います。

なぜ大人になってこんなことを考えたかという、憧れのガラスペンを手に入れたからです。ガラスペンはボールペンのように持ち歩くものではなく、机に向かって余裕を持って書くものです。日記のように自分だけが見るものでなく、ラブレターのように好きな人に見てもらえるなら、ゆっくりとていねいに文字が書けるかなと思いました。今、ラブレターを書く気持ちで一文字ずつ書いています。ガラスペンにインクをつけると、ペン先の溝にインクが入り込み、ほかま1枚分の文字が書けるといわれています。サラサラと書き進めていけるのはとても楽しいです。

スマホやパソコンで打つのは楽ですが、Wordで作ったラブレターはどんな気持ちも込められていても、いまいち伝わらひいですまね、ガラスペンをきっかりに、普段は言えない気持ちを手書きで伝えてみてはひいかかでしょうか。

HARIO
SCI.
NEWS

VOL.59

HARIO

ハリオサイエンス 株式会社

〒110-0008 東京都台東区池之端 3-1-25

TEL:03-5832-9571

FAX:03-5832-9572

sales@harioscience.com

1個から買える



HARIO SCI.
ONLINESHOP

次号予告

「速くに行ける靴」